

2023 年度 国際交流支援室 事業報告

安保 英勇
国際交流支援室 室長

1. 国際交流支援室

本年度のスタッフは、先端教育研究実践センター長（小嶋秀樹教授）、国際交流支援室長（安保英勇准教授）、室員（劉靖准教授、尹得霞助教、閔琬新助教）である。

2. 今年度の活動（2024 年 2 月現在）

(1) 部局間学術交流協定および大学間学術交流協定の維持管理

本年度は、5 件の部局間学術交流協定（北京師範大学教育学部、南京師範大学心理学院、華東師範大学教育科学学院、華東師範大学心理与認知科学学院、ソウル大学校師範大学）の更新を行った。また、国際交流実績に基づき学術交流協定の運用について見直し作業を行った。

(2) 学術交流協定に基づく交換留学生の派遣と受入れ

インドネシア教育大学へ 1 名、交換留学生を派遣した（期間：2023 年 8 月 21 日～2024 年 6 月 1 日）。

(3) 外国人留学生の受入れと支援（詳細は別頁参照）

留学生の受入れ及び学生生活支援を特化した業務であり、主な内容は、1) 研究生希望者の学力・研究能力の調査、2) 日本語会話能力等の面談（インターネットを活用した映像面接）、3) 研究計画書の作成に対する助言、4) 希望する教員の研究分野等の説明、5) 当該教員への報告・相談、6) 入学後の相談・サポート等であり、留学生に関わる全ての業務窓口として対応してきた。本業務は旧教育情報学研究部・教育部において 2015 年 4 月から開始した業務であり、2018 年 4 月に教育学研究科との統合後も継続して実施している。

今年度は、教育情報アセスメントコース、教育政策科学コース、グローバル共生教育論コース、教育心理学コース、臨床心理学コースの研究生入学志願者の 46 名を対象に、研究生受け入れのための入学調査と面談の支援を行った。

また、留学生の留学生活と就職活動をよりよく支援するために、新入留学生の為のオリエンテーション及び、本研究科を修了した元留学生 2 名を招き、進路相談・日本における就職活動に関する懇談会を開催した。

(4) 国際シンポジウム、講演会

① 2023年12月15日

国際シンポジウム：「アジア太平洋地域における高等教育の国際化・内生性・地域化の再検討：東西対話を通して」 International symposium on "Reconsidering Internationalization, Endogenization, and Regionalization of Higher Education in the Asia-Pacific Region: Through East-West Dialogue" (参加人数：134人)

発表者： ● Dr. Simon Marginson (Oxford University)
● Dr. Rui Yang (The University of Hong Kong)
● Dr. Akiyoshi Yonezawa (Tohoku University)
● Dr. Kazuo Kuroda (Waseda University)
● Dr. Yuto Kitamura (The University of Tokyo)
● Dr. Zhou Zhong (Tsinghua University)

本国際シンポジウムでは、日本を含めたアジア太平洋地域における高等教育の未来に着目し、基調講演者の Simon Marginson 氏（オックスフォード大学）と Rui Yang 氏（香港大学）の対話を通して、日本、中国、韓国からの研究者が意見交換をし、この地域の高等教育の国際化、内生性および地域化の在り方を探求し、アジア太平洋地域における高等教育の未来の再検討を行った。

② 2024年2月19日

国際シンポジウム：持続可能性のための高等教育の変革 アジア太平洋地域における グリーンリテラシーのための教育・学習の革新 International Symposium on Transforming Higher Education for Sustainability in the Asia-Pacific Region: Innovations in Teaching and Learning for Green Literacy (参加人数：53人)

発表者： ● Dr. Libing Wang (UNESCO Regional Office in Bangkok)
● Dr. Sornnate Areesophonpichet (Chulalongkorn University)
● Dr. Fuangarun Preededilok (Chulalongkorn University)
● Dr. Zhou Zhong (Tsinghua University)
● Dr. Weiyang Xiong (The Education University of Hong Kong)

本国際シンポジウムでは、アジア太平洋地域の高等教育機関が、グリーンリテラシー（広義には、個人が持続可能な社会の構築に向けて行動できるようにするための知識・スキル）のための教育・学習を変革し、2030 アジェンダの達成に貢献するための革新的な取り組みを探求することを目的とした。さらに、高等教育関係者、国際機関、その他のステークホルダーが集まり、アジア太平洋地域において SDGs

を達成するために大学において必要な教育・学習の変革の在り方を議論した。

③ TU-EDU Talk 2023 シリーズ

第1回：2023年4月4日

テーマ：Higher Education in Hong Kong

発表者：● Dr. Weiyan Xiong (Lingnan University)

● Dr. Lili Yang (The University of Hong Kong)

嶺南大学の Dr. Weiyan Xiong と香港大学の Dr. Lili Yang が本研究科を訪問し、香港の高等教育の現状や課題などについて、東北大学の研究者や学生たちと一緒に意見交換を行った。アジアの高等教育をどのように位置づけるか、アジアの大学（高等教育）の意味合いをどのように理論と実践からまとめ、概説するかが、今後のアジアの高等教育研究に必要な議論と研究の展開になると思われた。

第2回：2023年5月9日

テーマ：International Cooperation in Education and Japan's Initiatives

発表者 ● Dr. Kazuo Kuroda (Waseda University)

この回は、早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授の黒田一雄先生をお迎えし、国際教育協力と日本の取り組みについてご講演をいただいた。講演では、教育におけるグローバル・ガバナンス、リージョナル・ガバナンスの歴史と動向を概観された後、教育における国際協力の方針と実践を紹介された。そして、日本の教育協力の方針と実践を紹介された。講演後、参加者と講師との間で活発な意見交換が行われた。清華大学、東北大学、国立政治大学（台湾）の参加者から、教育における国際協力や日本の取り組みについて質問があった。

第3回：2023年6月2日

テーマ：Education for Sustainable Development in Thailand

発表者：● Dr. Fuangarun Preededilok (Chulalongkorn University)

タイのチュラロンコン大学教育学部開発教育学科助教授の Fuangarun Preededilok 氏をお招きし、タイにおける持続可能な開発のための教育の経験についてご講演いただいた。講演では、タイにおける持続可能な開発のための教育の歴史と政策の変遷を振り返った。その後、チュラロンコン大学における持続可能な開発のための教育推進の戦略と実践について紹介された。ディスカッションでは、持続可能な開発のための教育において、どのように学際的な教育や学習を

推進していくかについて意見交換を行った。本セミナーはタイにおける持続可能な開発のための教育について理解を深める貴重な機会となった。

第4回：2023年6月12日

テーマ：Pathways to actionable responses in Philippine education reform

発表者：● Dr. Jason Alinsunurin (De La Salle University)

Jason Alinsunurin 博士 (De La Salle University) をお迎えし、フィリピンの教育改革についてご講演をいただいた。冒頭、Dr. Alinsunurin はフィリピンの教育政策について概説した。そして、フィリピンにおける学習危機の程度について、2つの研究を紹介された。1つ目の研究では、PISAにおけるフィリピンの生徒の深刻な成績不振の理由が説明された。2つ目の研究では、親の関与が子どもの学力に与える影響についての研究結果を紹介された。ディスカッションでは、教師教育、ICT教育、そしてそれらがフィリピンの教育に与える影響について議論された。

第5回：2023年9月1日

テーマ：The Integration of Chinese and Western University Ideas in Chinese Societies

発表者：● Dr. William Yat Wai Lo (Durham University)

本講演会では、中国本土、マカオ、香港、台湾、シンガポール（東南アジアの華人コミュニティを含む）を含む中国社会における、中国と西洋の大学の複雑な統合思想を探求する最近の研究動向を紹介し、大学のガバナンスと国際化に焦点を当て、概念的・実証的なケーススタディを通して、これらの複雑性を解釈した。

第6回：2023年10月19日

テーマ：出会いがキャリアを創り出す：多文化保育園 HAPI の起業と挑戦

発表者：● 河邊亮輔氏（特定非営利活動法人 HARMONY）

本講演会では、講師の河邊亮輔氏が自身の出会いとキャリア形成について紹介した。特に、国際教育開発の学習と実践を通じて、国内外の社会問題に対処できるスキルを習得した経験を、参加者と共有した。講演終了後、参加者からは就職活動やNPOの設立経験などに関する質問があり、講演者と交流が行われた。

第7回：2023年11月7日

テーマ：日本の国際教育協力—日本の教育経験と開発援助

発表者： ● 萱島信子氏（JICA 緒方貞子平和開発研究所）

本講演会では、講師の萱島先生が日本における国際教育協力の歴史を振り返り、その特徴や価値観を紹介した。また、日本の教育開発経験はどのように日本の国際開発援助に位置付けるべきかについて、参加者との意見交換を行った。

第8回：2024年1月31日

テーマ：Futures of Education

発表者： ● Mr. Robert Parua (UNESCO Beijing Office)

本講演会では、パルア氏による公開講義「教育の未来」が行われた。講義では、ユネスコの「Reimagining Our Futures Together」と題された報告書の概念を包括的に解説した。また、オンラインと対面の参加者による意見交換も行った。

その他

- 2023年4月21日（金）に2023年度教育学研究科・教育学部の国際機関インターンシップ派遣プログラム説明会を開催した。本研究科・学部におけるUNESCOバンコク事務所のインターンシップ派遣事業およびJICA東北のインターンシップ派遣事業の取組みを大学院生・学部生16名に紹介した。また、2022年度にUNESCOバンコク事務所インターンとしてバンコクに派遣されたグローバル共生教育論コース博士前期課程修了生のWen Ningxiさんからユネスコバンコク事務所インターンシップの経験が紹介された。多くの大学院生・学生が国際機関の仕事に興味を持つように、今後も本プログラムを推進していきたい。
- 2023年6月27日、駐日中国新瀉総領事館劉宏（リュウ コウ）代理総領事が本研究科への表敬訪問を行った。また、本研究科グローバル共生教育論コースの劉靖准教授は本研究科における国際学術交流の取組みを紹介し、中国清華大学との共同研究の進展に関する説明を行った。小嶋副研究科長も同席した。野口研究科長は、歓迎の挨拶を述べると共に、これまで本研究科は中国の大学と教育・研究交流面で積極的かつ有意義な交流を行ったきたことを述べた。劉代理総領事からは、学部科目の海外教育演習に関して、中国への現地調査を通じた日中若者の交流と相互理解の促進において大変有意義な取組みであることが述べられた。また、清華大学との共同研究の進展に対して、高い関心を示された。
- 2023年9月17日－28日、中国北京で実施された2023年度「海外教育演習」の現地調査に、教育学学部生9名と教育学研究科大学院生2名が参加した。この科

目は2013年度に教育学部で開設され、事前学習とフィールドワークを通して、アジア地域における教育と社会についての理解を深めることを目的としている。北京に滞在中、学生たちは中国清華大学、北京師範大学教育部、北京外国語大学国際教育学院を訪問し、中国の大学生との交流を行い、訪問先の大学の教員による講義に参加した。また、それぞれの関心に基づいた課題を設定し、「大学入試」、「塾と教育」および「教師と教育」に焦点を置き、現地の学生たちに対するヒアリング調査も行った。9月25日には、学生たちは中国21世紀教育研究院を訪問し、中国の農村教育について、専門家との意見交換を行った。さらに、9月26日には、ユネスコ北京事務所を訪問した。訪問中、同事務所の教育専門家である Mr. Robert Parua より、ユネスコのグローバル教育プログラムに関して説明を受けた。その後、学生たちが日本の教育における現状と課題について、グループ発表を行った。Mr. Parua から学生たちへ、発表に対する有意義なコメントを頂いたのち、日本の教育問題に対する解決策について、学生たちと引率教員との意見交換も行った。訪問の最後に、Mr. Parua と引率教員の劉靖准教授は同事務所と東北大学の今後の協力・連携の可能性について意見交換を行った。

- 2023年10月19～20日に国立台湾師範大学（台北）教育学院において Asia-Pacific Association for Teacher Education (APATE) Conference が開催された。この国際会議には、主に東アジア・東南アジアの教育系大学の学部長・研究科長が招待され、それぞれの教育・研究の取り組みを共有することを目的したものである。同学院の Prof. Shelly Tien (Dean of College of Education)のご招待を受け、本研究科の代表として小嶋教授（副研究科長）が、Deans' Forum セッションにて、本研究科における教育・研究の取り組みについて、とくに multiculturalism, sustainability, teacher's reprofessionalization に焦点を当てて講演し、他大学との交流促進に向けた基盤構築ができた。
- 2023年10月19日に国立政治大学（台北）教育学院が開催した「教育研究専門討論」に、同学院の Prof. Robin Chen から招へいを受け、本研究科の小嶋教授が "Cognitive Developmental Approach to Human Communication" というタイトルで研究講演を行い、多くの大学院生や若手研究者との活発な議論を行った。また、国立政治大学が次季 AELC (Asia Education Leader Course)の共催校であることから、教育学院の施設および教育研究活動を、また大学全体の施設および諸活動を参観し、今後の学生交流・研究交流の拡大に向けた基盤構築ができた。
- 2023年12月22日には、来学訪問中の中国清華大学教育研究院の大学院生3名

と東北大学教育学研究科・教育学部の学生 5 名および東北大学交換留学生 2 名が宮城県第一高等学校を訪問した。訪問中、同高校の新校舎や授業の様子を見学し、高校の生徒たちが作ったビデオを視聴し、学校の歴史や特色への理解を深めた。また、高校の生徒 15 名との交流会も開いた。交流会では、自己紹介後、参加者たちは「教育・学校の現地と将来」というテーマについて、グループに分けて、意見交換を行った。

- 2024 年 1 月 29 日から 2 月 1 日にかけて、ユネスコ東アジア地域事務所（ユネスコ北京）教育プログラム・スペシャリストの Robert Parua 氏が東北大学を訪問された。前述したように 1 月 31 日には、パルア氏による公開講義「教育の未来」が行われた。講義では、ユネスコの報告書「Reimagining Our Futures Together」と題されたユネスコ報告書の概念を包括的に解説した。このイベントには、会場参加者 19 名、オンライン参加者 18 名の合計 37 名が参加した。また、1 月 31 日には、Parua 氏は小嶋秀樹教授、安保英勇准教授、劉靖准教授との会合に参加し、ユネスコと教育学研究科の今後の協力体制について話し合った。このほか、Parua 氏は東松島市を訪問。東松島市の教育委員会、地元の小学校、地元の NGO を表敬訪問し、日本の地域事情における教育実践を理解した。さらに、宮城県宮城第一高等学校で行われた探究学習発表会にも参加した。今回の訪問により、ユネスコ北京と東北大学大学院教育学研究科との相互理解とコミュニケーションが深まった。今後の協力関係が期待される。

(5) 元留学生情報収集の再開

在学生と元留学生間の交流を促進し、両者の持続的なネットワークを構築する目的で、元留学生の情報収集業務を再開した。

(6) 交換留学プログラムの支援強化

部局間の交換留学プログラムを促進するため、協定校の情報を収集・整理した。さらに、インドネシアでの留学経験を持つ学生を招き、交換留学の経験を共有する会を開催した。

(7) 国際交流支援室のウェブサイトの運用

教育学部・教育学研究科の国際交流に関する情報をより広く周知するため、2021 年 3 月より国際交流支援室のウェブサイトの運用を開始した。現時点では、主に AEL Course、国際シンポジウム、日本語学習支援事業、留学生の受け入れ、部局間学術交流協定などの情報を掲載している。